

【イベントレポート】 レンタルやサブスクとは違う!? みんなは知ってる？ リースの仕組みと仕事の魅力



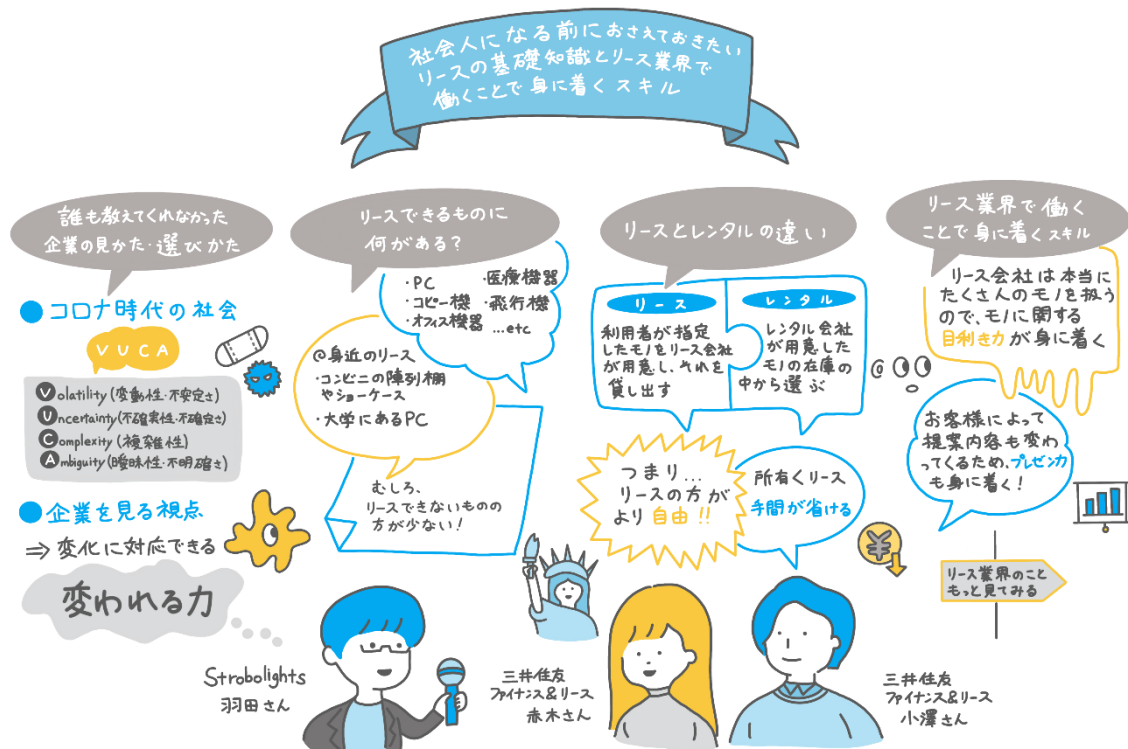
みなさんは「リース」を知っていますか？ 多くの企業の事業を支えるリースの仕組みと仕事の魅力を伝えるため、2021年2月、リース業界や、リース会社で働く先輩社会人にスポットをあてたウェビナー『大学生のための企業の見かたと選びかた vol.2』が開催されました。

- ・ まだどんな業界で働きたいのか決めていない
- ・ 人や社会の役に立つ仕事がしたい
- ・ 将来仕事を通じて色んな知識を身につけて、視野を広げたい
- ・ 社会の仕組みを知りたい

そんな考えや悩みを抱えている学生のみなさんの、選択肢を増やすきっかけになるかもしれません！

社会人になる前におさえておきたい

リースの基礎知識と、リース業界で働くことで身に着くスキル



リースは国内企業の約 9 割が利用している仕組みです。社会人にはなじみがありますが、学生のみなさんには「？」なところもあるかもしれませんね。学生向けのキャリア支援を行う羽田啓一郎さんが、リース会社で働く小澤明久さん、赤木智美さんにインタビュー。リースのこと、社会の仕組みをもっと知りたい！



羽田さん

リースできるものには、何がありますか？



赤木さん

パソコンやコピー機といったオフィス機器のほか、産業機械に医療機器、建物や飛行機に至るまで、実にいろいろなものがあります。リースできないもののほうが少ないほどですよ。



小澤さん

例えば、学生のみなさんは普段からコンビニを利用されていると思いますが、店内の商品陳列棚やショーケースなどもリースの対象。大学にあるパソコンもそうです。リースは、みなさんの身近なところにもある仕組みです。

日常生活に溢れるリース物件

 情報通信機器	 事務用機器	 土木建設機械	 商業・サービス 業用機器	 農業・畜産業用機器
 産業機械	 工作機械	 医療機器		
 環境関連機器	 航空機・船舶	 不動産		



どんなものがリースできるのかもっと知りたい！

<https://www.leasing.or.jp/tokusetu201807/>



羽田さん

リースとレンタルの違いはどんなところにあるのですか？



赤木さん

レンタルはレンタル会社が用意したモノの在庫の中から選びますが、リースは利用者が指定したモノをリース会社が用意し、それを貸し出します。つまり、リースは自由に品物を選べるという違いがあります。



小澤さん

設備を所有しようとするすると初期投資費用がかかりますが、リースであれば費用を削減することもメリットですね。費用や手間を考えると、所有するよりもリースのほうが機器の入れ替えがしやすいことも特長です。

企業から見たリースのメリット

- ✓ 資金調達の多様化が図れる！
- ✓ 資金の効率的運用が図れる！
- ✓ 常に最新の設備を使用でき、陳腐化を防げる！
- ✓ 事務負担を軽減できる！
- ✓ 廃棄時に法令違反リスクを回避できる！

1



羽田さん

わたしはささやかながら、将来カフェを開くことが夢なのですが(笑)、どんな設備がいくらくらいするのかあっと考えることがあります。いま街中にあるカフェの設備もリースである可能性が高いのでしょうか？



赤木さん

リースの可能性が非常に高いですね！わたしも営業時代に多くのカフェの設備導入提案をしていました。



羽田さん

リース業界で働くことで、どんなスキルが身に着くのでしょうか？



赤木さん

リース会社は本当にたくさんのモノを扱うお仕事ですので、モノに関する目利き力を身に着けることができます。お客様によって提案内容も変わってきますのでプレゼン力も身に着きますね！



小澤さん

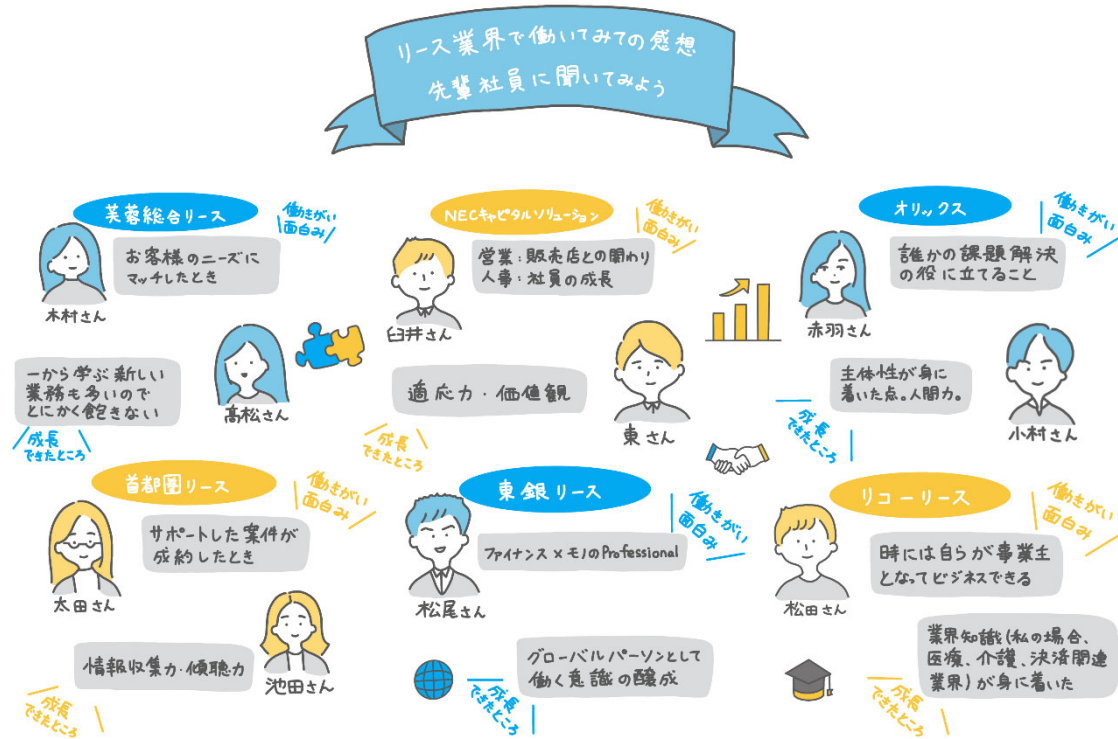
色々な業界のお客様と接する機会が多いので、幅広い業界知識や専門知識を身に着けられることも、リース業界で働くことの大きな特徴ですね。

リース会社で身に着けられるスキルは？

- ✓ モノに関する目利き力
- ✓ 会計・財務・法務等、企業を見る力
- ✓ 幅広い業界知識
- ✓ 幅広い専門知識
- ✓ プレゼン・コミュニケーション力

3

リース会社で働いてみての感想は？
先輩社会人のみなさんの話を聞いてみよう



リースは企業にとって、なくてはならない仕組みなんですね！ ウェビナーに参加した学生のみなさんは、ますますリースに興味を持ったみたいです。学生とリース会社で働く社会人の方とのトークタイムでは、さまざまな質問が寄せられました。

Q.

リース会社で働くやりがいとは？

A.

モノを介して企業や社会を支えられることです。特に印象に残っているのは、病院の医療機器のリースを担当したときのこと。人びとの健康や人生をサポートしているという責任を感じました。自分が携わった仕事が社会の役に立つことをあらためて実感できました。

Q.

リース会社で働く人の特徴は？

A.

視野が広いことです。リース会社は扱うモノの品目が多いからこそ、あらゆる業界の企業がお客さま。そのため、社会の動向を常にキャッチしておく必要があります。幅広い業界やビジネススタイルを間近に感じながら社会人生活を送れることは、リース業界ならではの面白さですね。

Q.

元々リース業界で働きたいと考えていたのですか？

A.

いえ、元々興味はなかったのですが、一流のビジネスマンになりたいという思いから、逆算してリース業界を選びました！

金融の知識、お客様への提案力・コンサル力、多角的な事業への取り組みなど、とても魅力を感じました。

リース業界の仕事をもっと知りたい！

<https://www.leasing.or.jp/>

コロナ禍の影響は？ 海外にもリースはある？ ニューノーマル時代のリースを知る

<本文>

実社会で働くみなさんとの会話を通じて、自分のキャリアを考えるきっかけになったようです。コロナ禍のこと、グローバルのことなど、学生のみなさんが気になるトピックにまつわる質問もありました。

Q.

リース業界は社会の動向に影響を受けますか？

A.

どのような業界でもそうですが、景気で左右されるところはありますね。ただ、コロナ禍の場合ですと、これまで自社で購入していたものをリースに切り替えるといったように、リースの需要は上昇している面もあります。

Q.

日本と海外のリース業界の違いは？

A.

国や地域で異なりますが、日本は総合リース会社が主流である一方、海外では専門リース会社が主流です。さまざまなモノを扱う日本の総合リース会社の強みは、ユニークな「アイデア」と新しい提案を生み出す「スピード」。海外の現地法人で働くスタッフは、常に周りを見渡し、ビジネスチャンスとなり得るものを素早くキャッチする感性を大事にしています。

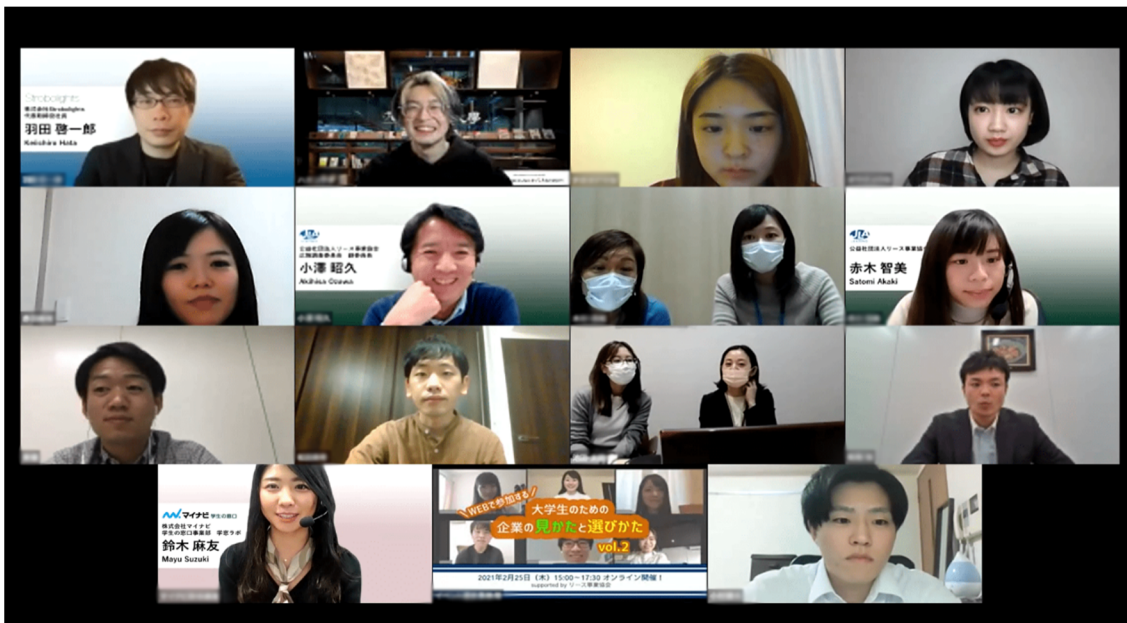
リース業界について調べてみる

<https://www.leasing.or.jp/>

ウェビナーのあとには懇親会も開催！活発な質疑応答が行われました。

イベント終了後、もっとリース業界のことについて深掘りしたいという学生さんと懇親会を開催！

ウェビナーでは聞き足りなかったことを、先輩社会人にぶつけてみました。



Q.

ウェビナーの中で、「リース会社は資金力がある」というお話がありました。それをもとに新規事業を立ち上げることもあるのでしょうか？

A.

農業や地方創生・地域活性化へのチャレンジや、再生可能エネルギーへの投資など、幅広く新規事業にチャレンジしています。

各社によってチャレンジする領域は違ってきますが、フィールドに限りはないと感じます。

Q.

海外で関わる事業では、どんな国や地域で展開していますか？

A.

ニューヨークや香港、シンガポールなど、北米やアジアでの拠点があります。

国によって税制や求められているニーズが違い、国ごとに仕事の広がりが変わってきます。働き方としても、海外の現地法人で働く方法と、日本を拠点に海外出張などでグローバルに働く方法と様々です。自身に合ったグローバルな働き方を選択肢として持つこともできますね。

リース会社で働くみなさんの思いは一つ

「これからも企業の成長をサポートしていきたい！」

熱心な学生のみなさんの姿に、リース会社のみなさんも大いに刺激を受けたようです。感想をうかがいました。

「リース会社で働いて感じることは、社会には自分が知らない業界や会社が山ほどあるということ。ウェビナーに参加された学生さんには視野を広げるために参加したという方もいらっしゃいましたが、知らない業界・会社を知ろうという意識を持つことは、今後も必ず役に立ちます。その気持ちを大切にしてくださいね。」

「リース会社各社はさまざまな分野で事業参画し、新しいビジネスモデルを検討しています。あらゆるモノを扱うリース会社だからこそ、事業領域にとらわれることなく貢献できるフィールドを広げられます。現在のコロナ禍だけでなく、今後も変化し続ける時代において『リース』という枠組みを超えた発想力を磨きながら、社会とともに発展していくことを目指します。」

いかがでしたか？ 「社会の役に立ちたい」「いろいろな企業や人と関わりたい」という人にとって、リースの仕事は大きなやりがいを感じられるはず。将来のキャリアの選択肢に加えてみるのもいいですね。



リース事業協会は、全国のリース会社を会員とする公益社団法人です。2021年3月時点の正会員数は86社。なかには日本のみならず、海外にまでビジネスを展開するリース会社もあります。近年、多くの企業の課題となっている人手不足による省力化や合理化を解決するうえで、リース事業に寄せられる期待は高まるばかり。今後、ますますの成長が期待できる分野です。

<https://www.leasing.or.jp/>

提供：公益社団法人 リース事業協会